



大切ないのちをまもる、つなぐ

「BLS」コース

「Water Safety」コース

「Surf Lifesaving」コース

「Pool Lifeguarding」コース

「IRB Rescue」コース

「Junior Education」コース



日本ライフセービング協会
資格認定講習会
のご案内



LIFE
SAVING

ごあいさつ

この度はJLA ACADEMYに興味関心を示して下さい、誠にありがとうございます。

日本ライフセービング協会(JLA)は、国際的な視野から海岸をはじめとする全国の水辺の環境保全、安全指導、監視・救助を行うライフセービングの普及、および発展等に関する事業を行い、国民の安全かつ快適な水辺の利用に寄与して参りました。更には水辺の安全を追求していく上で、事故を未然に防ぐことを活動の根幹とし、万一に備えた知識や救助技術の習得を目的とした講習会では年間6000名以上の方々に資格を発行しております。

「Lifesaver」とは…水辺において監視や救助活動を行う人を主に示します。当然のことながら自分の身の安全をしっかりと守れることが前提です。優秀なライフセーバーは救助能力はもちろんのこと、それ以上に危機管理能力を有し、「救った」ことを喜ぶのではなく、「守った」ことを喜び、それをさらなる糧にする感性を有しています。そして生涯ライフセーバーであり続けるためにパトロールの経験を重ねていくことや、競技会(競技者、審判)への参加も大切なモチベーションとして持ち続けています。近年では、その他にも「BLS」「Water Safety」といった「基礎資格の普及啓蒙活動」や「ジュニア、ユース期のライフセービング教育」といった関わりも大変重要な存在となって参りました。

JLA ACADEMYはライフセービングに関わる全ての方々の持続可能な活動を願い、それぞれに特色あるコース、資格をラインナップしております。今後も「守る・助ける」立場であるライフセーバー(危機管理)の養成と、「事故を自ら防止できる」対処策(危機回避)を広く伝え、「水辺の事故を無くす」ことの社会使命を果たして参ります。



JLA ACADEMY 本部

Swim & Survive

水辺の危険を理解し生きる力を学ぶ

水の特性を知り、さらに水辺(海、河川、湖沼、プール、池、水路ほか)にはどのような危険があるのかを十分理解し、泳ぎの基本を学ぶことと同時にその危険に自ら対処する方法(スイム&サバイブ)を体得していれば、いろいろな活動体験を通じて安心して多くの学びや感動を得ることができます。

事故防止の基本的な考え方として、特に自然環境下の活動では、時間的・空間的に変化する危険な場所を理解し、その対応を考えることができる能力が求められます。

JLAは、水辺における様々な活動において、危険な状況にならないように、「楽しみながら安全を考えて行動できる能力」を身につけるための教育を進めています。

日本ライフセービング協会の活動



「ライフセービング」とは、人命救助を本旨とした社会活動のことで、水辺の事故防止のための実践活動です。日本ライフセービング協会（JLA）は、国際ライフセービング連盟（ILS）の日本代表機関を担い、主に5つの活動を通じて「水辺の事故ゼロ」を目指しています。

中でも「JLA ACADEMY」は国内唯一のライフセービング教育機関として、ILS加盟国の関連団体との国際的なネットワーク、及びJLA 専門委員会による学術的な裏付けを有し、年間約350回の講習会を実施しています。

■主な活動

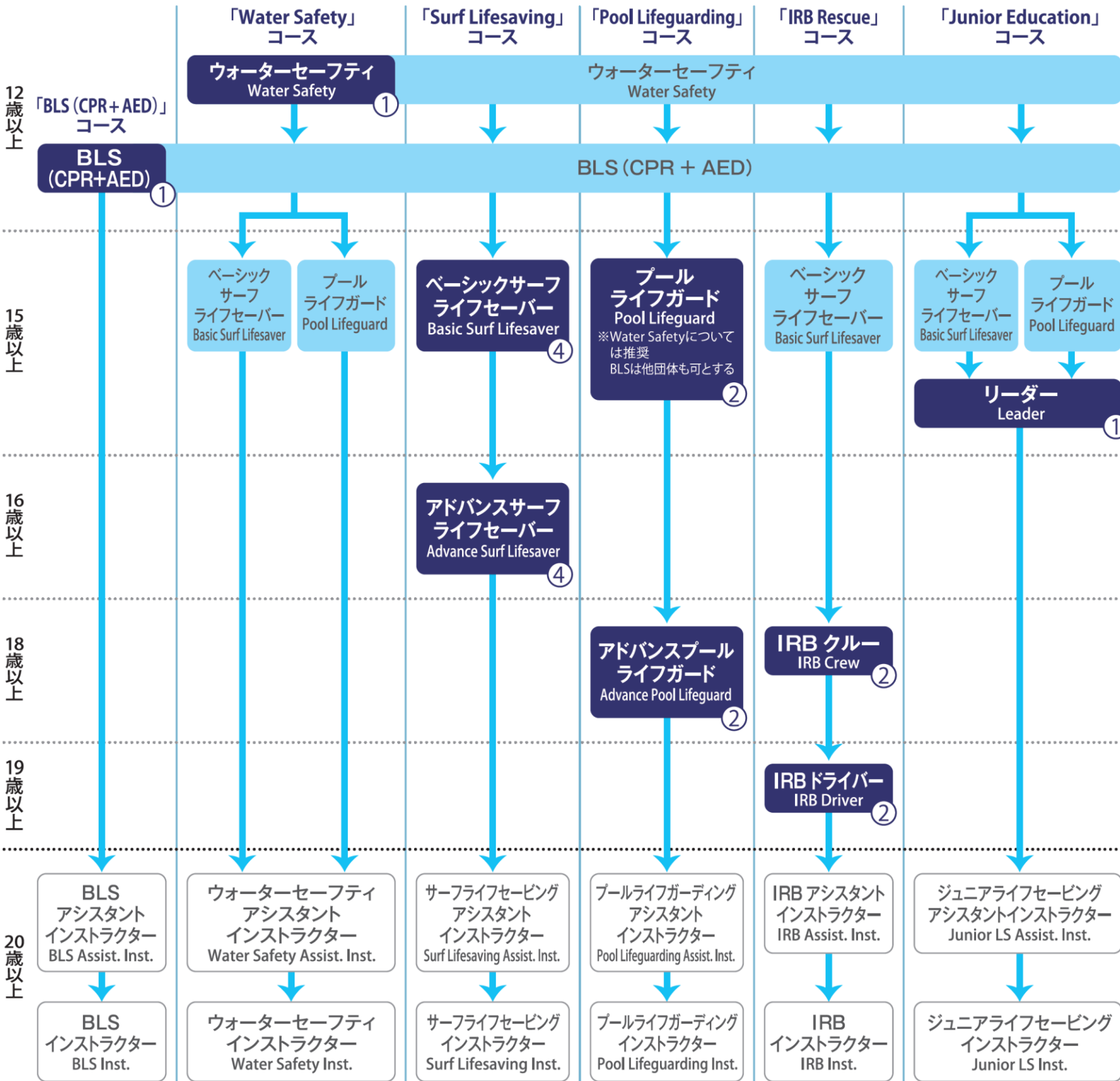
ミッションを実現するための8つの戦略

- 戦略 1
ライフセービングを通じた生命教育の普及
 - 戦略 2
認定ライフセーバーの育成
 - 戦略 3
先端技術による安心安全な水辺空間の創出
 - 戦略 4
ライフセービングの職業化
- 戦略 5
ライフセービングスポーツの発展
 - 戦略 6
アジアパシフィックを中心とした国際貢献
 - 戦略 7
都道府県協会・加盟クラブへの支援
 - 戦略 8
ライフセービング支援者の創出



資格体系図

※ウォーターセーフティとBLSは、取得する順番が逆になっても構いません。
※各資格名の右下の○数字は、講習会の日数を示しています。





日本ライフセービング協会 資格認定講習会概要

「BLS (CPR + AED)」コース

大切な人のいのちを見つめ、行動してみる

日本蘇生協議会 (Japan Resuscitation Council: JRC) と日本救急医療財団による「JRC蘇生ガイドライン2015」に準拠した「救急蘇生法の指針 (市民用)」に基づいて、救急隊・医師へと引き継ぐまでの数分間の視点 (バイスタンダー) をもって学科、実技講習を展開しています。病気やケガ、不慮の事故、自然災害など何らかのアクシデントで人が倒れた際の対処法を「知っている」から「実践できる」へ。質の高い心肺蘇生とAEDの習得を目指し、傷病者の「社会復帰」をキーワードに「救命の連鎖」が途切れることのない社会を目指します。

一定頻度者講習



BLS (CPR + AED)

BLSアシスタントインストラクター
BLS Assist. Inst.

BLSインストラクター
BLS Inst.

BLS資格認定講習会

受講条件 1. 満12歳以上 (小学生除く)
講習日数 1日 (7時間)
講習会費 7,500円
※テキスト代、その他教材費込
有効期限 2年間 (取得した年度を含まない)

※上位資格を取得する場合、BLS資格とWater Safety資格を取得する順番はどちらでも構いません。

※BLSとは・・・Basic Life Support (一次救命処置) の略。
①心肺蘇生②AED③気道異物の除去の3つを合わせてBLSといいます。

「Water Safety」コース

水辺に関わるすべての方々へ

水辺において自身を守ることのできる知恵や技能を伝えることが目的です。「危機回避能力」を身につける一方で、指導的な立場にある方 (教員や水泳インストラクター、各種マリンスポーツインストラクター等) にとっては、実践的なプログラムとしての展開、運用につながる水辺の安全基礎資格です。

昨今では地震や津波、気候変動に伴う様々な自然災害が発生しており、減災を図るためには自らを助ける自助力が必要とされています。公益活動として、広く国民の生命を守るために貢献していきます。



ウォーターセーフティ
Water Safety

BLS (CPR + AED)

ベーシック
サーフライフセーバー
Basic Surf Lifesaver

プールライフガード
Pool Lifeguard

ウォーターセーフティ
アシスタントインストラクター
Water Safety Assist. Inst.

ウォーターセーフティインストラクター
Water Safety Inst.

ウォーターセーフティ資格認定講習会

受講条件 1. 満12歳以上 (小学生除く)
2. 25m泳げる健康な人
講習日数 1日 (6時間)
講習会費 4,500円
※テキスト代、その他教材費込
プール利用料を別途徴収することがあります
有効期限 5年間 (取得した年度を含まない)

※上位資格を取得する場合、Water Safety資格とBLS資格を取得する順番はどちらでも構いません。

ライフセービングサポーター講習会

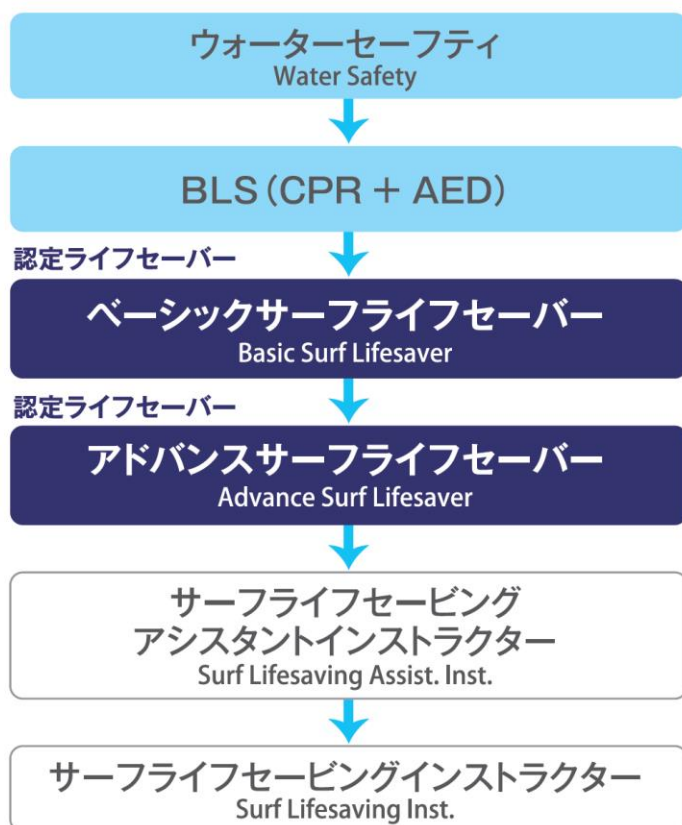
受講条件 満6歳以上 (未就学児を除く)
講習日数 1時間～
受講料 無料

各コースにおけるプログラムの中から、開催形態や参加者のオーダーに合わせ講習会を実施します。受講後、修了証を発行します。

「Surf Lifesaving」コース

人と海をつなぐ架け橋に

ライフセービングは「溺れた人を救う」という救助活動から、溺れない安心な環境をマネジメントすることを重点課題としています。実際の溺水事故例の分析から、人間の危険な行動という人的要因と自然（海浜状況）という環境要因を知り、監視ポイントを明確に学びます。また万一の危険な状態の人に対する救助技術や、応急手当の実践的技能を習得します。全国の海水浴場に対し、日本ライフセービング協会認定のサーフライフセーバーが活動する数は、まだまだ不足しているのが現状です。“水辺における悲しい事故を減らすために...”この資格が担う大切な使命です。



ベーシックサーフライフセーバー資格認定講習会

受講条件	1. 満15歳以上（中学生を除く） 2. 50m/40秒以内、400m/9分以内、 潜行/20m以上、立泳/5分以上 3. Water Safety資格を取得していること 4. BLS資格を取得していること
講習日数	4日
講習会費	32,000円 ※テキスト代、その他教材費込
有効期限	3年間（取得した年度を含まない）

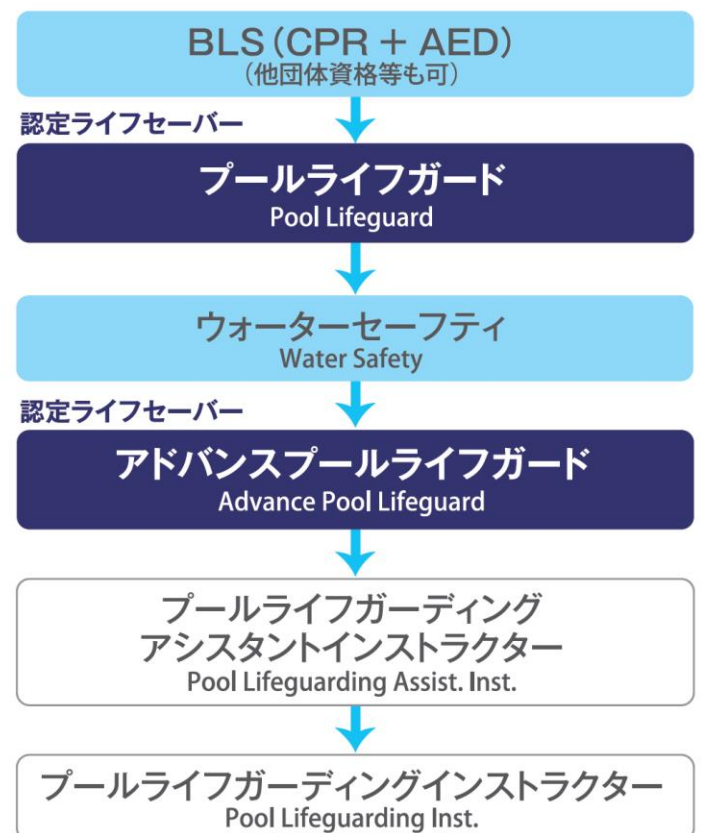
アドバンスサーフライフセーバー資格認定講習会

受講条件	1. 満16歳以上 2. 50m/35秒以内、800m/14分以内、 潜行/25m以上、立泳/10分以上 3. Basic Surf Lifesaver資格を取得していること 4. Basic Surf Lifesaver資格取得後、海浜での 監視救助活動の経験があること
講習日数	4日
講習会費	27,500円 ※教材費込み
有効期限	3年間（取得した年度を含まない）

「Pool Lifeguarding」コース

プールでの活動に安心感を

昨今では人々の健康志向による水泳が盛んに行われています。年間を通じた多様な活動も多く、その安全管理に「LIFEGUARD」が存在します。「Surf Lifesavingコース」同様に、事故を未然に防ぐことを重点課題とした監視体制や方法論、救助法を習得します。平成24年6月に警備業法の適用により、プール監視業務を受託する際の警備員の資質向上が求められています。プールにおける安全確保に資する資格として展開しています。



プールライフガード資格認定講習会

受講条件	1. 満15歳以上（中学生を除く） 2. クロール又は平泳ぎで100m泳げること 1.5m潜れること 3. BLS資格を取得していること（他団体資格含む） 若しくはBLSを業務で扱う者
講習日数	2日
講習会費	24,000円 ※テキスト代、その他教材費込 プール利用料を別途徴収することがあります
有効期限	3年間（取得した年度を含まない）

アドバンスプールライフガード資格認定講習会

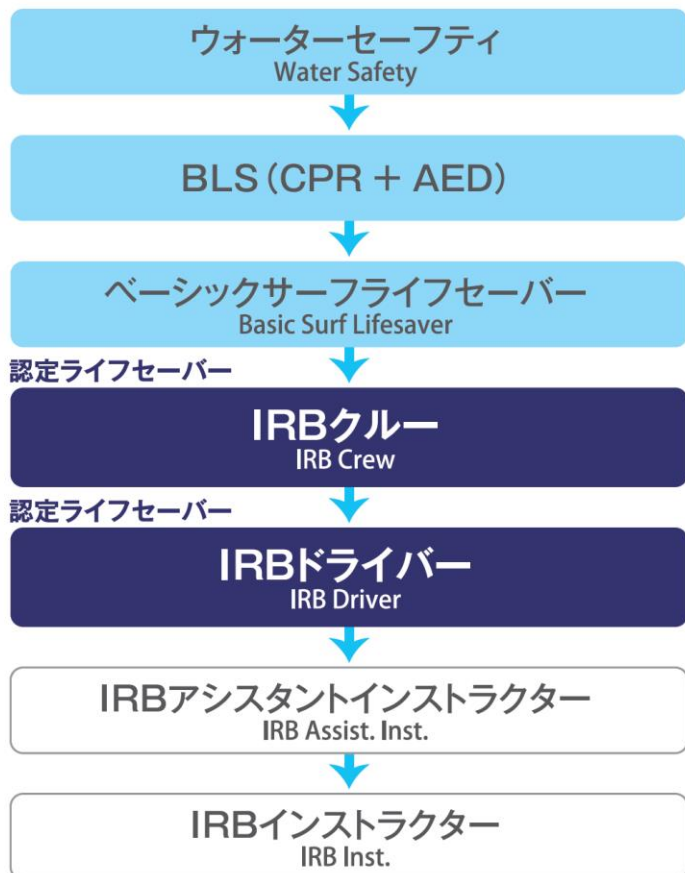
受講条件	1. 満18歳以上（高校生除く） 2. クロール又は平泳ぎで50m/50秒以内、 200m/5分以内、潜行/15m以上、立泳/1分以上 3. Pool Lifeguard資格を取得していること 4. Water Safety資格を取得していること
講習日数	2日
講習会費	19,500円 ※教材費込 プール利用料を別途徴収することがあります
有効期限	3年間（取得した年度を含まない）

「IRB Rescue」コース

厳しい環境下での救助を可能にする

海辺で発生する事故の原因の7割がリップカレントなどの「潮流」に流され発生しているといわれています。流れの速い潮流の中を、人間の力だけで救助することはとても困難であり、大きな危険が伴います。そこでIRB Rescueコースでは、IRB（救助用ボート）を活用しあらゆる環境下の中で、安全かつ迅速に救助を可能にするための講習内容となっています。

「IRBクルー」は乗組員としての基礎を心得、溺水者を正確に確保、救出する技能を習得します。「IRBドライバー」は自然における状況判断能力を養い、救助の際に求められる操船技術を習得します。1秒でも速く、助けを求めている人のもとへ…



IRBクルー資格認定講習会

受講条件	1. 満18歳以上（高校生を除く） 2. Basic Surf Lifesaver資格を取得していること
講習日数	2日
講習会費	28,000円 ※テキスト代、その他教材費込
有効期限	3年間（取得した年度を含まない）

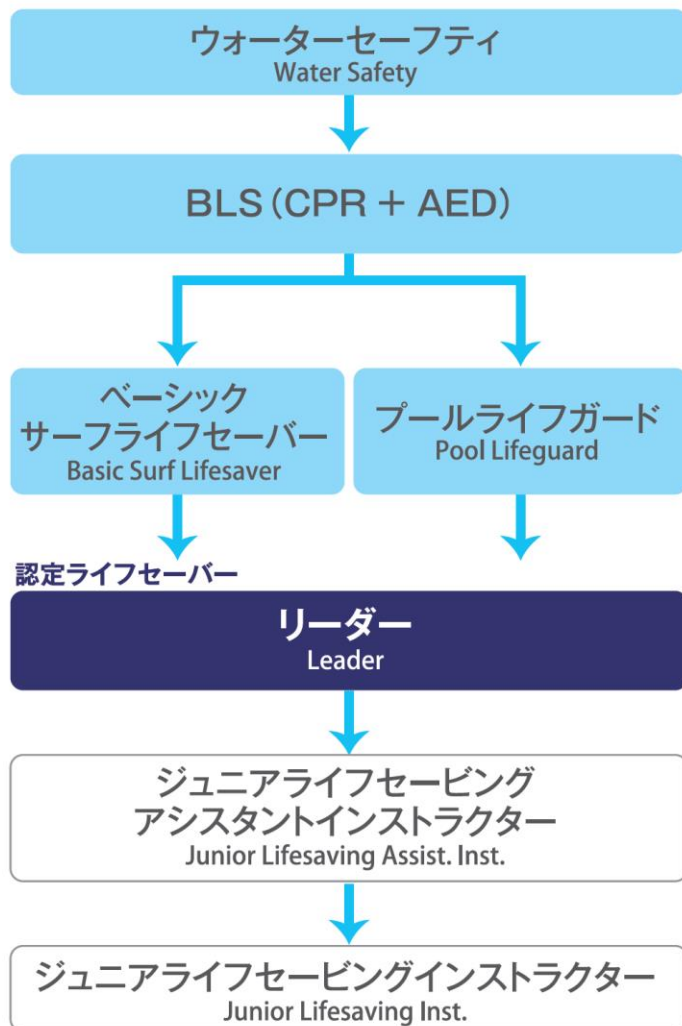
IRBドライバー資格認定講習会

受講条件	1. 満19歳以上 2. IRB Crew資格を取得していること 3. 二級小型船舶操縦士免許を取得していること 4. IRB Crew資格取得後、IRBでの監視・救助・救護活動を経験していること
講習日数	2日
講習会費	28,000円 ※教材費込
有効期限	3年間（取得した年度を含まない）

「Junior Education」コース

子どもたちの笑顔のために、そして未来のために

ライフセービングを通じておこなう、青少年の健全育成に関わる大切なコースです。子どもたちの指導実践に直接関わる「Leader」資格。そしてその方たちを養成する指導員資格。夏季や水辺に限定されることなく、年間を通じて子どもたちと関わりある環境づくりに寄与することが目的です。子どもたちが「On the beach」から「Off the beach」の精神を育む人間形成の場を創造していきます。



リーダー資格認定講習会

受講条件	1. 満15歳以上（中学生を除く） 2. Basic Surf Lifesaver資格 もしくはPool Lifeguard資格を取得していること 3. Basic Surf Lifesaver資格もしくはPool Lifeguard資格取得後、監視救助活動の経験があること
講習日数	1日（6時間）
講習会費	8,000円 ※テキスト代、その他教材費込
有効期限	3年間（取得した年度を含まない）

JLAのインストラクターを目指そう!!

JLA認定の指導員資格を取得した指導員は、JLA ACADEMYとライフセービングを正しく伝える代表的な存在です。指導員資格は各コースごとに【Assistant Instructor】と【Instructor】の2段階構成になっており、まずは【Assistant Instructor】資格を目指すことになります。

JLA指導員は、各種講習会の運営、指導を行い、資格認定の役割を担っています。

【Assistant Instructor】はInstructorの指導のもと、講習会の運営、学科・実技指導、また検定の補助を行います。

【Instructor】は講習会の運営、学科・実技指導をリードし、検定の結果をもとに可否の判断を行なう存在です。

指導員資格を取得し、ライフセービングを広く伝え、「生命をつなぐ架け橋」になってみませんか。



受講者の声

■初めてこんなにくわしくライフセービング、海や川について話を聞きました。ライフセーバーのおかげで「水辺の事故」を減らせているんだなぁとあらためて感じました。



■今回の講習をうけて、水辺の危険さや水辺での事故に対する対処などがわかりました。誰かの役に立ちたい、誰かに必要とされたいと最近よく思うので、来年ライフセーバーの資格を少しずつ取っていきたいと思います。

■今回の講習をうけて、「水辺の事故」を減らしていきたいと思いました。本当に熱意のこもった講習をありがとうございました。忘れません!!

■命の大切さ、自然の大切さ、自分の身は自分で守ることの大切さ、そのことを『ライフセービング』で学びました。

■今回の講習で、沢山の役に立つことを学びました。今回学んだことを使うことがない方がいいと思いますが、使う時がもしきたら自分が知っていることのすべてを尽くして人を助けたいと思いました。

指導員の声

JLA ACADEMYの魅力は大きく分けて2つあります。ひとつは講習会の内容です。JLA ACADEMYで実施している全ての講習会に共通しているのは、「命と向き合える機会がそこにある」ということです。自分の命、他者の命を守り、救うためには、身につけておかなければならない技術がたくさんあります。しかし、大事なことはその技術をなぜ学ぶのか？この知識を知っておくと何の役立つのか？という最終的なゴールが「命」としっかりと結びついているかどうかです。講習会はJLA認定の指導員によって、「命」としっかりと向き合えるような内容で進められています。

2つ目の魅力が、講習会を指導する「指導員」です。JLA ACADEMYの指導員養成講習会を受講するためには、いくつかの条件をクリアしなければなりません。その条件のひとつに「一定時間以上の現場経験」が挙げられます。例えばSurf Lifesavingの指導員であれば、海での監視救助活動を必ず経験しています。海という現場で命と触れ合ってきた指導員だからこそ、その発言には、ことばでは言い表わせない「想い」が込められています。歴史の積み重ねと調査・研究によって裏付けられた講習内容を、現場経験豊かな指導員が伝えていくことでより魅力あふれる講習会になっているのです。

受講者一人一人の大切な気づきを共感し、自他の生命をみつめ「命の大切さ」や「人を慈しむ心」をともに深めていくことを約束します。



JLA ACADEMY 資格認定講習会および研修会の実績

JLAはBLS (CPR+AED) やWater Safetyを中心とした資格認定講習会や研修会を実施してきました。
今後も日々の日常生活に訪れる不慮の事故や災害対応の視点を有し、積極的に展開していきます。

団体 ※1	対象	内容
足立区教育委員会	小・中学校教員	水泳事故防止研修会にてWater Safetyプログラム実施
大阪体育大学	学生	BLS、Water Safety、Basic Surf Lifesaver 資格認定講習会
大阪ハイテクノロジー専門学校	学生	BLS 資格認定講習会
大阪府立摂津高等学校	生徒	Water Safety 資格認定講習会
神奈川県立橋本高等学校	生徒	BLS 資格認定講習会
国際武道大学	学生	BLS、Water Safety、Basic Surf Lifesaver、Advanced Surf Lifesaver 資格認定講習会
新東京歯科衛生士学校	学生	BLS 資格認定講習会
成城学園中学校高等学校	生徒	BLS、Water Safety 資格認定講習会
世田谷区中学校体育連盟野球部	世田谷区立中学校野球部顧問(教員) 外部指導員(一般)	BLS体験講習会
一般財団法人 東京私立中学高等学校協会	中学校高等学校教員	Water Safety、BLS 資格認定講習会
東京スポーツ・レクリエーション専門学校	学生	BLS、Water Safety、Basic Surf Lifesaver 資格認定講習会
東京都板橋区	板橋区立小学校 3～6年生	Water Safetyプログラムの実施
東京都北区	北区立中学校 1年生	岩井臨海学園にてWater Safetyプログラム実施 資格発行
東京メディカル・スポーツ専門学校	学生	BLS 資格認定講習会
公益財団法人 日本サッカー協会 (JFA)	各団体トレーナー ・各年代日本代表 ・JFL、なでしこリーグ、Fリーグ ・全日本大学連盟、全日本大学女子連盟 ・都道府県サッカー協会	BLS 資格認定講習会
日本水泳トレーナー会議 (日本水泳連盟医科学委員会・医事部連携組織)	所属トレーナー	BLS 資格認定講習会
公益社団法人 日本プロサッカーリーグ (Jリーグ)	チーム所属トレーナー	BLS 資格認定講習会
公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団	指導者	BLS、Water Safety 資格認定講習会
明治国際医療大学	学生(救急救命学科)	BLS、WS、Basic Surf Lifesaver 資格認定講習会
ものづくり大学	学生	BLS 資格認定講習会
読売巨人軍	医療コンディショニングスタッフ (トレーナー、トレーニングコーチ)	BLS 資格認定講習会
流通経済大学	学生	BLS、Water Safety 資格認定講習会 ※1 50音順
FC東京	育成部・普及部スタッフ	BLS 資格認定講習会

 **LIFESAVERS** に登録しよう



資格認定講習会の開催日程は、JLAのオンライン登録システム
「LIFESAVERS (<https://life-savers.jp/>)」で確認できます。
LIFESAVERSは、メールアドレスさえあれば、どなたでも無料で登録(JLA-IDの発行)が可能です。

■お申込みについて

講習会日程の確認のみの場合は登録不要ですが、講習会にお申込みをされる場合は、LIFESAVERSで個人登録(マイページの設定)を行い、JLA-IDを取得する必要があります。

■LIFESAVERSでできること

- 都道府県協会やクラブへの加入(所属)
- 所属団体や取得資格の登録証の発行
- 講習会のお申込み
- 講習会費や資格登録費などの各種支払い 他

■資格登録費について

認定ライフセーバー資格取得後は、資格登録のために取得翌年度から年間の資格登録費の支払いが必要です。一般は4,500円/年、高校生は2,500円/年です。
LIFESAVERSのマイページ上でお支払いをさせていただきます。

※複数の認定ライフセーバー資格を取得した場合でも、年間の登録費は一律4,500円(高校生は2,500円)です。



公益財団法人
日本ライフセービング協会
〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18

Supported by  **THE NIPPON FOUNDATION**

水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会